

第4回「海外幼児教育研修」

本学では異文化交流を通じて幼児教育の更なる学びと視野拡大を目的として 2015 年度より「海外幼児教育研修」を実施しております。

1. 研修の概要

(1) 目的

異文化交流を通じて、幼児教育の学びを深め、視野の拡大を目指す。

(2) 日程

2019年3月4日(月)～10日(日)

(3) 参加学生

幼児教育保育科1年生(30名)

(4) 宿泊先

UNIVERSITY PLACE HOTEL

ダウンタウンまで車で約5分。

ポートランド州立大学(PSU)のキャンパスや学生寮が点在する場所に位置する。



2. 研修の日程と研修内容

【第1日目 3/4(月)】

15:00 成田空港第1ターミナル・北ウィング

17:15 DL68便でポートランドへ

・・・国際日付変更線・・・

09:40 ポートランド着

11:00 マルトノマの滝の自然探索

12:30 ショッピングモールのフードコートにて昼食

15:00 大型スーパーマーケットにて日用品の買い物

16:00 ホテルにチェック・イン

16:30 ホテルの会議室でオリエンテーション

17:00 現地表現活動の前日練習



【第2日目 3/5(火)】

08:50 集合

09:30 Hands on Art and Play 訪問

ポートランド出身の創立者ジェニファーが当初自宅を開放し、近所の子どもたちのためのデイケアサービス 시작했다。現在では教会の施設を借り、3歳から5歳の子どものための幼児教育を行っている。



- ・ 子どもたちに自己紹介
- ・ 学生による表現活動①「紙風船をつくって遊ぼう」
- ・ 子どもたちとのふれ合い保育
- ・ 施設の見学



12:00 ショッピングモールのフードコートにて昼食
 13:30 Life Sampling 主催のアーバンファーム体験

学校のキャンパスである TLC ファームは、学校の他に農園や共同住宅、教育施設としての機能を持ち、敷地内で農作物の栽培、ヤギや鶏の飼育もしている。子どもたちは天候に関係なく外で活動し、季節の素材を使ってクラフトや料理をし、季節をテーマにした歌や踊りを楽しんでいる。子どもの持つ無限の好奇心と想像力を大切にしたい教育が徹底されている。



- ・ 学生による表現活動② ペープサート「さるかに合戦」
- ・ 子どもとのふれあい 鬼ごっこなど
- ・ 施設見学
- ・ ワークショップ「拾った枝でゴットアイ作り」
- ・ レクチャー「自然の中で子どもが育つとは」



17:30 オーガニック素材を扱うスーパーマーケットにて食料品の買い物
 18:10 ホテル着、翌日のプレゼンテーションの前日練習
 19:00 ホテルから徒歩で地元の食材をつかった Pizza レストランで夕食

【第3日目 3/6 (水)】

08:30 集合

09:00 Helen Gordon Child Development Center 訪問

Jean Piaget, Lev Vygostky, Reggio Emilia の教育理論や方法を取り入れた保育実践を展開し、PSUに通う学生や教員の子ども、地域の子どもの受入を行っている。生後4か月から5歳児対象。園舎は1928年建設、国家歴史登録財に指定されている。環境に優しい建造物としての評価も高い。保育実践に用いられる素材は、個人や企業からの寄附としての廃材やリユース素材を積極的に活用。



- ・ 施設の説明と見学
- ・ 学生によるプレゼンテーション①
「日本の文化・日本の祭り文化」
- ・ 学生によるプレゼンテーション②
「日本の保育・幼稚園と保育所、保育内容」
- ・ 質疑応答

12:00 ポートランド州立大学 PSU の大学書店でショッピング

12:30 ダウンタウンを自由散策（公共交通機関 Max などを使って各自ホテルに戻る）

【第4日目 3/7 (木)】

08:50 集合

09:30 Portland Children's Museum 訪問

見る、触れる、聴くという体験型を徹底した博物館。ポートランドを拠点とするアーティストが手がける月かわりのテーマエリアでは、子どもがアーティストと共に遊び、創造性、表現力を養う取組などが工夫されている。3歳児から小学校5年生対象の Opal School が隣接し、休み時間や表現活動の時間はこの博物館内で自由に過ごすことが出来、人気の学校の一つとなっている。



12:30 ノブヒルエリアにて昼食と散策

14:00 Powell's Book Store にて絵本購入
その後、ダウンタウンなど自由散策



【第5日目 3/8 (金)】

08:50 集合 (Max と Street Car にて移動)

09:30 SCRAP 訪問

1998年オープンの非営利団体。SCRAPでは、ビジネスや生活で不要になったものを回収し、リユース商品として、非常に安価な価格で販売している。例えば、使用しないファイルなどを企業がもちこみ、5セント程度で販売。環境教育として、リユース素材を用いたワークショップを展開している。



- ・ 施設の説明
- ・ レクチャー「ポートランドの環境教育と取り組み」
- ・ ワークショップ
- ・ リサイクル素材の視察

13:00 大型ショッピングモールにて
 屋食・ショッピング

17:30 ホテル着



【第6日目 3/9 (土) →3/10 (日)】

08:00 集合 (徒歩で移動)

08:30 PSU 構内のファーマーズマーケットの散策

09:00 ポートランド国際空港へ

11:43 DL69 便で成田へ

・・・国際日付変更線・・・

15:40 成田到着



3. 参加学生の感想（海外研修の日記より）

- ◇ 様々な保育の方法を見て、保育に正解はないんだと強く学びました。国や人種、言語の違いはあっても、それに臆することなく笑顔でコミュニケーションを取ったり、相手を理解しようとする必要があるのだと思いました。特に Hands on Art and Play で出会った子どもたちと遊んだ時間は、私にとって宝物になりました。子どもに真正面から向き合えば、子どももそれに返してくれるのだと経験を持って知ることができ、保育者として大切なことに気付くことができました。
- ◇ 私は、この研修で自由に自己を表現する楽しさと大切さを学びました。Helen Gorden Child Development Center では、子どもはどんなことが好きで興味を持つのか、どんなもので作ったら楽しいかを追求していました。先生方がチームとなり、子どもや保育について考えを深め広げていく姿勢が素晴らしいと思いました。そして、実際に現地で働いている日本人の先生を見て刺激を受けました。
- ◇ 理想の保育者像をつくるのにたくさんのヒントをもらうことができた。また、日本の保育との共通点や相違点を見つけ、考える機会になった。資格を取ることに對しての興味が深まり、今後の実習や授業に活かしたいと思った。
- ◇ 今回見学した保育のようなことをしている日本の幼稚園や保育園の保育も見てみたいし、働くのも良いなと思った。
- ◇ 物を大切にする廃材をリサイクルすることにもとても前向きなポートランドの人たちから学ぶことはとても多かった。リサイクルする過程にも、企業や学校、地域、とたくさんのコミュニティの人々がつながり、協力して成り立っていることに感心した。たった 1 週間で何が学べるのかという思いで行ったが、興味を惹かれる場所、施設、学びにつながるものがとにかく盛りだくさんな 1 週間だった。

以上

（文責 高橋優子）